

クレジット取引セキュリティ対策協議会 2026年度 取組体制及び取組内容について

1. 背景

- ・ 2024年のクレジットカード不正利用被害額は555億円と過去最高で、9割以上がカード番号の盗用によるものであった。
- ・ この状況を受け、2025年度「ガイドライン【6.0版】」では、すべてのEC加盟店に対する『EC加盟店のシステム及びWebサイトの「脆弱性対策」の実施』、決済前の「適切な不正ログイン対策の実施」、決済時の「EMV 3-Dセキュア導入」などの指針対策を追加した。
- ・ EC加盟店及び関係事業者の取組促進の効果により、不正利用被害額は、2025年4月以降前年同期比減少が続き、2025年は510.5億円と前年より45.5億円減少した。
- ・ こうした状況を踏まえ、協議会は（一社）日本クレジット協会のインフラ整備部会の関連会議及び自主規制部と連携し、各社の取組状況や対策の効果等の調査・確認を実施、また関係事業者の意見交換や協議会傘下のワーキンググループ（以下「WG」という。）にて示された課題の検討を行った結果、現時点では新たな指針対策の追加や変更等の必要性がないことが確認された。
- ・ そのため、2025年度の「ガイドライン【6.1版】」は、既存対策の着実な実施を目的とし、各事業者の理解の促進に資するための改訂とした。
- ・ 一方で、WGの検討により、非対面取引では、高度なIT技術によるWebスキミングやリアルタイムフィッシングなどが新たな課題として明らかになってきた。
- ・ これらの課題には、中長期的にシステムや運用面の対応が必要となる可能性があるため、2026年度は協議会に設置されるWG・TFで対応方針を検討しつつ、インフラ整備部会等との連携を図りながら、現行対策の効果検証と短期課題への迅速な対応を進めていくこととする。

2. 2026 年度 取組体制及び取組内容について(案)

2026 年度は、協議会本会議傘下に下記 WG 及びタスクフォース（以下「TF」という。）を設置し、以下の内容に取り組むこととする。なお、メンバー構成は取組内容に応じて見直しを行う。また、具体的な検討にあたり、必要に応じ TF の下部にワークチーム（WT）等を組成する。

(1) セキュリティ対策検討 WG

施策及び取組内容

施策	取組内容
・セキュリティ対策対応方針の検討	・各 TF の検討結果を取りまとめ、中長期的なセキュリティ対策対応方針の検討 ・短期的対策の検討
・ガイドラインの改訂	・検討結果に基づく対策の更新、改訂等

(1)-1 カード情報保護対策 TF

施策及び取組内容

施策	取組内容
・実効性を考慮した脆弱性対策の対応方針の検討（中長期的な対策を含む）	・カード情報漏えい事案における脆弱性及び攻撃手法の FACT の取りまとめと提言（コンサル委託） ・提言を受けて、実効性を考慮した中長期的な対応方針の検討
・脆弱性対策に関する附属文書の改訂	・検討結果に基づく対策の更新、改訂等

(1)-2 不正利用対策 TF

施策及び取組内容

施策	取組内容
・不正利用対策の対応方針の検討（中長期的な対策を含む）	・非対面取引課題 検討候補：不正利用情報の共有、本人認証の高度化、対策の更新等 ・対面取引課題 検討候補：与信電文 IC 化、オンライン PIN の対応可否等
・附属文書改訂	・検討結果に基づく対策の更新、改訂等

※必要に応じて検討課題ごとにワークチーム（WT）を組成し検討を実施。

WT のメンバーは TF メンバー以外も含め選定する。

以上